



下野新聞認知症カフェ

プロジェクト2020

～ 忘れちゃってもわたしはわたし！オレはオレ！～

Vol.
02
2020.10

認知症って、どんな病気？と質問するとこんな答えが返ってきます「物忘れがひどくなる病気でしょ」「家が見えなくなったり、徘徊したり、家族が見えなくなったり」「食べたことを忘れちゃう病気」…これらは、症状の一部に過ぎません。誰もがなりうるものである「認知症」の理解を深めるために、県内初の指定機関として1990年に設立された獨協医科大学病院認知症疾患医療センターのセンター長、同医大精神神経医学講座主任教授の下田和孝先生を訪ねました。

オレンジコラムvol.2

第一生命

「フレイル予防お知らせ活動」実施中!

「フレイル」とは「健康」と「介護」の間の状態を言います。フレイルが進行すると要介護状態や認知症になるリスクが高まると言われています。フレイル予防には「食事」「運動」「人とのつながり」が大切。第一生命栃木支社ではフレイル予防に関する情報を皆さまにお届けすること、ご希望される方たちへ先着100名様「コグニサイズDVD」をプレゼントするキャンペーンを実施中です。

「お問い合わせ先」
第一生命 栃木支社
宇都宮市東町1-29
電話028-621-1400



運動で認知症予防

先着100名の皆さまに
コグニサイズDVDを
プレゼント致します!

上記の「お問い合わせ」までご連絡ください。



下田 和孝先生
獨協医科大学 精神神経医学講座 主任教授
獨協医科大学病院 認知症疾患医療センター長

「私が精神科医になったのは1983年頃。現在、認知症といわれる患者さんを診るのは精神科でした。当時と比べて、認知症の人は急増して、2025年には高齢者の5人に1人が認知症になると予測されています。全国で、栃木県の人口の約3倍に相当する人が認知症になるとイメージする方が多い。そのうち、すでに世の中は大きく変化し、認知症を取り巻く状況環境も明らかに変わってきています。認知症という病名は、忘れや徘徊など、認知症が疑われる症状が見られるようになってから、認知症の診断を受けることになりました。しかし、現在、獨協医科大学病院認知症疾患医療センターに設置されている専用電話には年間500件を超える相談が患者本人や家族、行政機関・福祉施設・医療機関からあるほか、もの忘れ外来では年齢を問わずの診断を受ける方が増えています。認知症治療の入口は確実に広がっています。」

同センターが重視しているのは精神科と神経内科。両方からアプローチして、認知症の診断と治療を行うことが大切です。認知症は、脳の神経細胞が壊れたり減少したりすることによって起こる症状や状態の総称です。認知症を引き起こす原因疾患は多数存在し、脳のどの部位が損傷しているかによって症状や進行速度が異なります。そのため、どのような症状が出た場合、どの診療科を受診すれば良いのか分らない、本人はもちろんです。同居している家族も認知症の進行に気が付かず、専門医を受診が遅れてしまうことがよくあります。

「認知症は予防できる。少し前に聞いたことを忘れて何度も同じ質問をする。少し前のことも忘れてしまっている。日常生活の中で増えた場合同様に、認知症の前段階といわれる軽度認知障害(MCI)の発症が疑われます。MCIの発症を放っておくと、記憶や思考、理解判断などの知的作業の障害がでてきます。」

認知症の人が増えてきた。認知症予防が日々進んでいる。研究は日々進んでいる。しかし、残念ながら根本的な治療法や予防法は未だ確立されていません。この現状です。早く専門の医療機関等に相談することをお勧めします。

「認知症」といって、病名ではなく、症状や状態の総称です。認知症を引き起こす原因疾患は多数存在し、脳のどの部位が損傷しているかによって症状や進行速度が異なります。そのため、どのような症状が出た場合、どの診療科を受診すれば良いのか分らない、本人はもちろんです。同居している家族も認知症の進行に気が付かず、専門医を受診が遅れてしまうことがよくあります。

「認知症は予防できる。少し前に聞いたことを忘れて何度も同じ質問をする。少し前のことも忘れてしまっている。日常生活の中で増えた場合同様に、認知症の前段階といわれる軽度認知障害(MCI)の発症が疑われます。MCIの発症を放っておくと、記憶や思考、理解判断などの知的作業の障害がでてきます。」

「認知症は予防できる。少し前に聞いたことを忘れて何度も同じ質問をする。少し前のことも忘れてしまっている。日常生活の中で増えた場合同様に、認知症の前段階といわれる軽度認知障害(MCI)の発症が疑われます。MCIの発症を放っておくと、記憶や思考、理解判断などの知的作業の障害がでてきます。」

「認知症は予防できる。少し前に聞いたことを忘れて何度も同じ質問をする。少し前のことも忘れてしまっている。日常生活の中で増えた場合同様に、認知症の前段階といわれる軽度認知障害(MCI)の発症が疑われます。MCIの発症を放っておくと、記憶や思考、理解判断などの知的作業の障害がでてきます。」

「認知症は予防できる。少し前に聞いたことを忘れて何度も同じ質問をする。少し前のことも忘れてしまっている。日常生活の中で増えた場合同様に、認知症の前段階といわれる軽度認知障害(MCI)の発症が疑われます。MCIの発症を放っておくと、記憶や思考、理解判断などの知的作業の障害がでてきます。」

「認知症は予防できる。少し前に聞いたことを忘れて何度も同じ質問をする。少し前のことも忘れてしまっている。日常生活の中で増えた場合同様に、認知症の前段階といわれる軽度認知障害(MCI)の発症が疑われます。MCIの発症を放っておくと、記憶や思考、理解判断などの知的作業の障害がでてきます。」

認知症カフェプロジェクトの詳しい内容は
こちらまで!



#下野新聞認知症カフェ で感想を投稿して下さい。

本企画に関する協賛のお問合せは 下野新聞社営業局営業部まで
☎028-625-1133(平日9:00~17:00)

一生涯のパートナー

第一生命

明治安田生命

宇都宮支社



企画協力



応援医療機関
応援介護老人福祉施設

足利赤十字病院 岩曾内科脳神経外科医院 宇都宮第一病院 宇都宮リハビリテーション病院 皆藤病院 柏瀬眼科 鳥山台病院 木村内科医院 見龍堂クリニックかわせみ 見龍堂医療福祉総合クリニック 白澤病院 竹田内科小児科クリニック
長島医院 那須赤十字病院 那須中央病院 那須南病院 根本医院 芳賀赤十字病院 比企病院 深谷医院 村井クリニック 森クリニック グループホームかわせみ グループホームほのぼの グループホーム来夢 デイホーム風のさんぽ道
デイセンターさくら/デイホームさくらの家/よりそいデイサービスさくらの家 パワーライフサポート よろずや三島の社/グループホーム安暮里 みしまの家
※五十音順(医療機関/介護老人福祉施設の順)

子どもの頃の
楽しい思い出も、
認知症であることも、
その人のたいせつな
人生だから。

認知症の方と共に歩みつづける。SOMPOケアの認知症ケア。

人間尊重を基本とし、質の高い介護サービスを提供するSOMPOケア。認知症と診断されても、その人らしさを大切に、いきいきと過ごしていただけるよう、当社独自の認知症ケア手法である「HECT(ヘクト)アプローチ」などを実践してきました。また、認知症の方を自宅で支えるご家族のための応援サイト「あんなこんな」や、「認知症なるほど! Book」をはじめ、認知症に関する正しい知識、情報を発信するコンテンツづくりにも注力。認知機能低下の予防から認知症ケアまで、SOMPOグループ横断で取り組む「SOMPO認知症サポートプログラム」では、認知症と共生する社会の実現を目指しています。認知症ケアの高度化へ、介護の未来を変えていく。私たちは、SOMPOケアです。

認知症サポートダイヤル

認知症に関するご相談など、お気軽にお問い合わせください。

☎0120-97-5433

受付時間/平日 10:00~16:00
(年末年始を除く)

SOMPOケア 認知症 検索

【お預かりした個人情報の利用目的】弊社は、個人情報保護法を遵守し、弊社が行う事業に関するご案内・ご提案、契約の締結・履行、アフターサービスの実施、お客さまへの連絡・通信、新しい商品・サービスの開発、およびお客さまに有益と思われる情報の提供などのために、お客さまの情報を利用させていただきます。

認知症ケアのヒントが見つかる
応援サイト「あんなこんな」が
「2020年度グッドデザイン賞」
を受賞しました。



「あんなこんな」は
コチラから

